

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年2月 28日				
ウィズユース浜野駅前						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		午前は児童発達支援、午後は放課後等デイサービスにし、サービスを分けている。	狭いと感じる時があるが、適切である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		職員が欠勤の場合は、非常勤職員で補えるよう努力している。	通常4～5人の配置をしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		バリアフリー化されている。パーテーション等で特性に応じた配慮がなされている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		児童発達支援の活動、放課後等デイサービス後には1回清掃を行っています。また、子供達が使用する玩具は定期的に消毒を行う。	どの活動中も常におもちゃが出ている為、少し気が散る時があるかも。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		静養室は体調不良のお子様が無になれる様にスペースを確保しています。また、気持ちを落ち着ける場所としても利用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		月に一度の全体会議で、支援の目的を共有すると共に、成果や改善点について意見交換をしている。	土曜日の午前中にミーティングを実施している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			今回のアンケート集計後、実施していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		月に一度の全体会議で、支援の目的を共有すると共に、成果や改善点について意見交換をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		第3者評価は行ってないが、利用者や保護者様からの意見や提案には柔軟に対応しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		研修は定期的に行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		HUGを用いて、その日の支援内容を記録し公表しています。記録や個別支援計画を元に活動内容を立案しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		最長6か月以内で、モニタリング時にアセスメントを実施し、保護者、職員間で共有し自発管を中心に見直しを行う。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		自発管を主に、関わる職員の意見を参考に打ち合わせや支援内容の共有をし、今後どうしていくか話し合いが出来る。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		計画書に沿って、子供1人ひとりに必要な支援を実施し、健全な育成を図れるように心掛けています。	計画に沿った支援が行われているか、自発管がチェックしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		アセスメントを取る際はフォーマルなアセスメントシートを活用。日々の行動に関してはHUGシステムのケア記録に記載し確認する。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		計画書に沿って、子供1人ひとりに必要な支援を実施し、健全な育成を図れるように心掛けています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	1週間分の活動の目的や狙いを職員間で話し合い、立案しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		職員がその日の天気、気温、子供の体調を考慮し、立案しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		ぜんはんは、子ども一人ひとり必要な支援をし個別活動をしている。後半は、集団で出来るプログラムを支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	打ち合わせや支援内容を共有し、今後どうしていくか話し合いが出来ている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	連絡ノートを用いて、振り返りや共有が出来ている。	シフト制の為、翌日以降に振り返りを行う場合がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		HUGや連絡ノートを使用し、その日の支援計画を記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		最長6か月以内で、モニタリング時にアセスメントを実施し、保護者、職員間で共有し自発管を中心に見直しを行う。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		自発管は主に相談事業所と連携し、情報共有を行っています。	電話等で関係機関と情報共有している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		基本的には保護者を通じて連絡等調整を行っています。必要な時には、直接連絡をとっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		保護者の了承を得て、必要であれば支援計画書を保育所にお渡しし、連携が取れるよう情報を共有しています。	必要に応じて、支援計画書を含む情報共有を行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		主として送迎時に子どもの様子などの情報交換をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9		利用者の特性に応じて、発達支援センター専門職の方と支援方法や日々のプログラムをチェックしてもらい、適切に行えるようにアドバイスや助言を受ける機会を設けている。	今後、連携が取れるように積極的に研修を受けていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		余暇時間は、近隣公園等で地域の方との交流があります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時に保護者と対話をしたり、メール、電話にて情報交換など必要に応じて行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5		家族が参加できる研修の機会は現状無し。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時にはもちろん、質問や疑問がある方へ丁寧にお答えしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		主に引き渡しの際やHUGシステムのメッセージ、電話連絡等でご意向を伺っています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		電話で保護者と共有し、毎度サインを頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		メールや電話にて支援体制を設けており、送迎時にも相談対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6		現状、行えていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情発生時には、職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		活動、行事予定はHUG(保護者マイページ)にてお知らせしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報やデータはウイルスセキュリティや鍵付きの書庫で保管しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		子ども一人ひとりの特性を把握し、支援しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		ボランティアやインターンの受け入れ。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		職員間では周知出来ているが、保護者様への説明は出来ていない為、今後検討していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		定期的にプログラムを通して実施しています。(訓練・防災かるた)
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9			契約時に、保護者様への確認をしています。職員間で周知出来ている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			アレルギーは確認済みだが、医師の指示書までは発行してもらっていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			安全計画は、毎月実施出来ている。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			プログラム内での活動の発信は出来ているが前もってお知らせは出来ていないので、今後検討していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			事例があった時は必ず作成し(ファイリング)職員間で周知を徹底しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			虐待防止チェックリストは毎月実施しています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			委員会を開催し、身体拘束に関する議題について、検討している。身体拘束の対応に該当する児童は支援計画に明記している。	